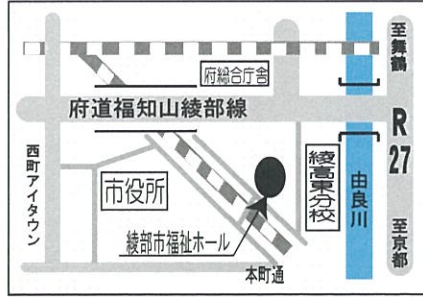


あやべの杜協



編集発行/社会福祉法人綾部市社会福祉協議会 綾部市川糸町南古屋敷5-1綾部市福祉ホール内 TEL (43) 2881 FAX (43) 2882



平成25年9月に民生委員が中心となり、町内の皆が、わいわいがやがや楽しい時間を過ごせる場所を作ろうと「味方Yがやカフェ」を始めました。現在、月1回、上地区と下地区の公民館で交互に開催しています。今年でサロンを始め6年目を迎え、スタッフ10名、参加者25~30名で毎回楽しい時間を過ごしています。

サロンでは、作品作りやゲームを楽しんだり、ゲストを招いて歌謡漫談やギター演奏を楽しんでいます。年3回位は、手作りの昼食も楽しんでもらっています。また、サロンだけの活動ではなく、月に1回サロンのお知らせをスタッフが配り、地域

味方 Yがやカフェ

発足 平成25年9月
会場 味方公会堂、公民館
活動日 月1回
連絡先 森下佐代子 (42-3004)

の見守り活動、地域のつながり作りにも取り組んでいます。

現在、参加者のほとんどが女性で、男性の参加が少ないことや、会場までお越しいただけない方への送迎の問題等考えなければならない課題もありますが、これからも、少しずつ仲間を増やしながら、ゆっくりと活動を続けていきたいと思っています。のんびり、気兼ねなくサロンで楽しい1日を過ごしていただき、参加者が明日からのエネルギーを得てもらえるよう、これからも頑張ってください。ぜひ、みなさんお越しください。

《毎月市内のサロン活動を紹介しています。サロン活動の立ち上げや運営のご相談は、綾部市社会福祉協議会まで》

RUN TOMO 2019



RUN伴（ランとも）※は、認知症の人や家族、支援者、地域の人が少しずつリレーをしながらタスキをつないでいくイベントです。地域の人と認知症の人が出会うことが、認知症になっても安心して暮らせる地域をつくるはじめての一歩となります。

昨年、タスキは 400 を超える市町村を通過し、応援者を含めると 3 万人以上の方が参加しました。

綾部では、90 名がエントリーし、約 300 人の市民が参加しています。あなたの参加をお待ちしています！

※RUN 伴は、NPO 法人認知症フレンドシップクラブの登録商標です。

主催：NPO 法人認知症フレンドシップクラブ / RUN 伴 2019 京都府実行委員会 / RUN 伴綾部実行委員会
後援：京都府 / 京都新聞 / (社福) 京都府社会福祉協議会 / (公社) 認知症の人と家族の会京都府支部

とき
2019 年
10月19日(土)
12:30~14:30 予定

ところ
綾部市内各地からゲンゼスクエア

エントリー期間
2019年7月1日から8月28日(必着)

問
RUN 伴綾部実行委員会
(綾部市社会福祉協議会内)

キリトリ

RUN 伴 2019 参加申込書

申込先：RUN 伴綾部実行委員会（綾部市社会福祉協議会内）
所在地：綾部市川糸町南古屋敷 5-1 TEL.43-2881 FAX.43-2882

氏名	年齢 ()
住所	
電話番号	
参加方法	徒歩 車いす ランニング 自転車 応援参加
Tシャツサイズ	キッズ 130 cm キッズ 150 cm S M L O ※応援参加の方で、Tシャツのみ希望される場合は 1 枚 1,998 円で購入できます。
参加費	高校生以上 2,500 円 中学生以下 1,500 円 参加費は、当日使用する Tシャツと保険料に充てられます。応援参加の場合は、参加費は不要です。



後列左から、山下理事、前田理事、小畑理事、山口理事、田中理事、井関理事、平野理事、熊谷理事
前列左から、高本監事、高橋副会長、入澤副会長、朝倉会長、高倉副会長、井上監事

新・役員体制となりました!

6月24日(月)に開催された評議員会で令和元・2年度期の役員(理事・監事)のみなさんが選任され、その後開催された理事会で、会長には朝倉正道氏、副会長には高倉正明氏(新任)、高橋秀文氏、入澤久美子氏の3名が選任されました。今後は、部会・委員会に分かれ、事務局担当とともに、様々な地域課題や運営課題などを検討していきます。

【令和元・2年度期役員名簿一覧】

- 朝倉正道(会長:知識経験者)
 - 高倉正明(副会長:自治会連合会代表)
 - 高橋秀文(副会長:民生児童委員協議会代表)
 - 入澤久美子(副会長:知識経験者)
 - 小畑浩幸(理事:介護老人福祉施設)
 - 齋藤信吾(理事:身体障害者協会)
 - 田中丈夫(理事:老人クラブ連合会)
 - 前田道子(理事:ボランティア総合センター)
 - 大石浩明(理事:綾部市福祉保健部)
 - 山口雅之(理事:知識経験者)
 - 熊谷由紀(理事:知識経験者)
 - 井関 悟(理事:知識経験者)
 - 平野正明(理事:知識経験者)
 - 梅原静代(理事:知識経験者)
 - 山下宣和(理事:知識経験者)
 - 由良弘子(監事:知識経験者)
 - 井上信治(監事:知識経験者)
 - 高本克男(監事:知識経験者)
- (敬称略)

7月豪雨で綾部市災害ボランティアセンター14日間運営

平成30年7月豪雨では、被災者の一日も早い生活復旧を願い、ボランティアによる支援活動を行ってきました。41件のニーズに1,685人のボランティアに支援活動を行っていただきました。

第4次綾部市地域福祉活動計画策定スタート

「将来、こんな福祉のまち綾部で暮らしたい」そんな思いを実現するために、第4次地域福祉活動計画づくりが15名の策定委員会を中心に始まりました。本年度中の策定をめざしています。

赤い羽根募金の推進のため、共同募金委員会発足

地域福祉の推進のため、共同募金の推進強化を図るため、幅広い市民や団体の参加を得て、綾部市共同募金委員会が発足しました。会長には山崎市長が就任されました。

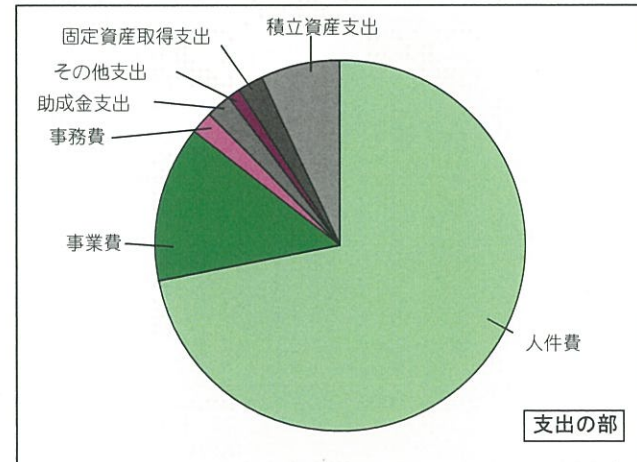
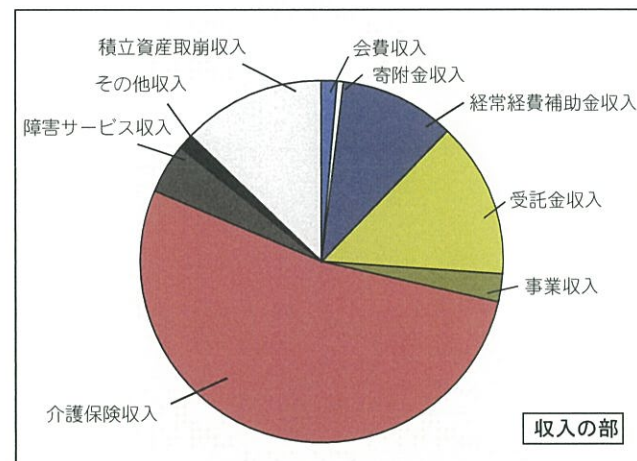
平成30年度綾部市社会福祉協議会事業報告

「いばしょ」と「出番」を地域に

平成30年度、綾部市社会福祉協議会は、第3次綾部市地域福祉活動計画および基盤強化計画Ⅱの4年目を迎え、社会福祉法改正に伴う経営基盤の強化、これまで積み上げてきた住民やNPOの地域福祉活動の更なる推進、ワンストップの総合相談体制強化によるさまざまな困難を抱えた人への専門的な援助、利用者の自立と尊厳を大切にしたケアサービスの提供、これらを有機的に連携させ、「いばしょ」と「出番」をキーワードに、綾部の地域特性を踏まえた地域福祉活動の推進をめざしてきました。

第2層生活支援体制整備事業(中部)の新規受託(4月)、綾部市共同募金委員会の発足(7月)、第4次地域福祉活動計画策定開始(10月)、生活困窮者自立支援制度現況調査の実施(1月)、職員向け相談援助者のためのスキルアップ講座の開催(通年)など新たな事業にも着手してきましたが、とりわけ7月豪雨ではかつてない大きな被害を受け、災害ボランティアセンターを非常時体制に切り替えて市内外のボランティアを受け入れ、14日間にわたり行ってきた被災者支援活動は、今まで経験したことのない取り組みとなりました。

令和元年6月の評議員会で承認された事業報告・決算は次のとおりです。



平成30年度資金収支計算書

勘定科目	予算(A)	決算(B)	増減(A-B)
金費収入	5,400,000	5,444,120	-44,120
寄附金収入	1,367,000	1,451,600	-84,600
経常経費補助金収入	34,102,000	34,203,787	-101,787
受託金収入	47,254,000	46,205,900	1,048,100
事業収入	7,716,000	7,654,495	61,505
介護保険事業収入	171,919,000	174,613,764	-2,694,764
運営福祉サービス等事業収入	14,629,000	14,627,580	1,420
受取利息配当金収入	259,000	313,097	-54,097
その他の収入	4,415,000	4,632,199	-217,199
事業活動収入計(1)	287,061,000	289,146,542	-2,085,542
人件費支出	236,233,000	235,146,206	1,086,794
事業費支出	44,693,000	43,857,344	835,656
事務費支出	6,132,000	6,673,088	-541,088
助成金支出	6,811,000	7,436,201	-625,201
その他の支出	3,000,000	3,000,000	0
事業活動支出計(2)	296,869,000	296,112,839	756,161
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	-9,808,000	-6,966,297	-2,841,703
施設整備等補助金収入	0	0	0
施設整備等収入計(4)	0	0	0
固定資産取得支出	7,593,000	7,358,179	234,821
施設整備等支出計(5)	7,593,000	7,358,179	234,821
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	-7,593,000	-7,358,179	-234,821
積立資産取崩収入	41,929,000	41,934,096	-5,096
その他の活動収入計(7)	41,929,000	41,934,096	-5,096
投資有価証券取得支出	0	100,000	-100,000
積立資産支出	22,206,000	22,268,192	-62,192
サービス区分間繰入金支出	0	0	0
その他の活動支出計(9)	22,206,000	22,368,192	-162,192
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	19,723,000	19,565,904	157,096
予備費支出(10)	0	0	0
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	2,322,000	5,241,428	-2,919,428
前期末支払資金残高(12)	69,814,000	69,817,813	-3,813
当期末支払資金残高(11)+(12)	72,136,000	75,059,241	-2,923,241

平成30年度貸借対照表

	資産の部		負債の部	
	30年度末	29年度末	30年度末	29年度末
流動資産	96,355,856	93,359,952	流動負債	21,119,666
			固定負債	35,886,832
			負債合計	57,006,498
			純資産の部	58,775,249
基本財産	14,850,753	16,619,032	基本金	1,000,000
			基金	25,258,316
			国庫補助金等特別積立金	1,394,044
			その他の積立金	305,755,290
その他の固定資産	385,909,795	404,303,727	次期繰越活動収支差額	106,702,256
			純資産合計	440,109,906
資産合計	497,116,404	514,282,711	負債及び純資産合計	497,116,404

生活介護支援サポーター養成講座

(6/14:綾部市福祉ホール)



開講のあいさつを行う朝倉会長

6月14日(金)から5日間の講座がスタートしました。今年度は14名の市民に申込みをいただき、価値観の違いの理解やコミュニケーションの手法、車いすの取り扱いの学びなど、講義や演習を通じて学びを深めていただいています。認知症の親の介護体験を聞いた受講者からは、「病気のことを理解することが大切」「認知症でも安心して暮らせるように、まず自分で何が出来るか考えたい」などの声がありました。

東八田まちづくり勉強会

(6/16:東八田公民館)



避難者に見立てたカードを並べ、避難所運営の模擬体験を行う

東八田福祉懇談会(辻井邦夫会長)では、今年も防災をテーマとした勉強会が71名の参加のもと開催されました。まず、市防災・危機管理課から地域防災についての話を聞き、その後、綾部市災害ボランティアセンターによる避難所運営ゲーム(HUG)を通じて、災害避難を考えるワークショップを行いました。「判断が難しい」「リーダーが必要」など多くの意見が出されました。

生活困窮サポーターわん★びーす定例会

(6/26:綾部市福祉ホール)



定例会の様子

生活困窮者のための「出番」と「いばしょ」づくりサポーター「わん★びーす」の定例会を6月26日に開催しました。働くことに悩みや、不安を感じている本人と、軽作業を通じて交流をおこなってきた一年間の活動の振り返りを行い、今後の展望を参加者同士で話し合いました。

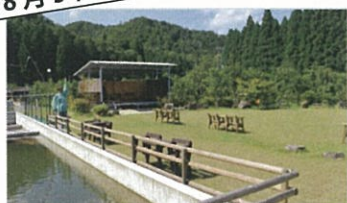
社協スクラップズ

ひとり親家庭

おやこふれあい
デイキャンプ

8月5日(月) 締切

魚釣り・金魚すくい
もできるかも



B B Q



とき 8/17(土) 参加費
おとな 1,000円
高校生以下 500円

15:00 現地集合 19:30 閉会

ところ 山家ハッピーアイランド(東山町)

対象 綾部市在住の母子・父子家庭

問・申込 綾部市社会福祉協議会
(tel.43-2881 FAX.43-2882)

毎月第4水曜日に開催中!



成年後見制度を利用するための疑問や手続きに関する相談を社会福祉士がお受けします。お気軽にご相談ください。(事前予約制、相談無料)

成年
後見
相談



とき 7/24・8/28(水)

①13時~14時、②14時~15時

ところ 綾部市福祉ホール(川糸町)

対象 綾部市在住、在勤の方

問・申込 綾部市社会福祉協議会
(tel.43-2881 FAX.43-2882)

平成30年度
綾部市社会福祉協議会
部門別事業報告



誰もが安心して暮らせるまちをめざし、様々な活動に取り組んできました。以下主なものを紹介します。



●くつろぎ移動足湯
閉じこもりがちの方の外出のきっかけづくりと福祉相談等を目的に足湯を出前。43か所、1,124名が利用。



●ふるさと綾部の老人を守る会
子どもが会員となり、綾部で暮らす高齢の親の福祉向上をめざす取り組み。写真は日帰り交流会の様子。



●福祉推進組織連絡協議会
市内12地区で組織されている福祉推進組織の情報交換の場として開催。56名が参加。



●特別講演会
認知症サポーター1万人達成を記念に「認知症を理解し地域で支える特別講演会」を開催。150人が参加。



●きょうと小地域福祉活動実践交流会
亀岡市で開催された実践交流会に67名が参加。ポスターセッションでは2団体が参加し交流を行った。



●だんないメモリーカフェ
認知症の不安のある本人や家族を対象に月1回、3圏域で開催。延べ209名、サポーターは125名参加。



●ゴールドサポーターフォローアップ研修
ゴールドサポーターとして傾聴ボランティアなどに従事するメンバーが精華町の「みんなの元気塾」へ視察。

地域福祉部門

●各サポーターの育成(認知症サポーター:23回510名、シルバーサポーター:16回522名、生活介護支援サポーター:1回19名)
●傾聴ボランティア:のべ988名活動

●初期認知症カフェ:のべ209名利用
●「あんしんカード」(登録1,700名)
●高齢者社会参加(敬老事業)支援(10,555名)



●介護者家族教室
介護家族の学びと交流の機会として、市、地域包括支援センターなどで毎月開催。年間111名が参加。



●地域ケア会議
中部地域包括支援センターが主催し、自治会、民生児童委員などと相談事例から地域課題を検討。4回開催。



●成年後見セミナー
あやべ生活サポートセンターが主催。「事例から学ぶ成年後見制度と権利擁護事業」をテーマに41名が参加。



●出前講座
中部地域包括支援センターの職員を派遣し、介護予防体操などの出前講座を行う。年11回開催。

相談支援部門

●中部地域包括支援センター(相談件数1,227件)
●福祉サービス利用援助事業(新規9名、相談・連絡調整件数7,128件)

●生活困窮者自立相談支援(新規相談44名)
●障害相談支援(相談延人数614名)
●耳のこと相談(3回、19名)
●法人後見受任(4件、累計7件)



●市長との要望懇談 ●理事会

●社協会員(一般会員11,707戸、賛助会員80事業所、特別会員29施設・団体)
●福祉ホールの指定管理(利用回数240回)
●共同募金募金額(5,103,688円)、歳末たすけあい募金額(4,064,621円)
●地域福祉活動機材の貸出(392団体に885品の貸出)

法人運営部門



●生活機能改善のための茶摘 ●通所介護合同作品展

●訪問介護事業(身体介護4,662回、生活支援4,895回)
●訪問入浴介護事業(のべ1,012名)
●通所介護(つどい・なごみ)事業(のべ10,190名)
●居宅介護支援事業(のべ1,302名)
●障害者同行援護事業(のべ926名)
●すこやかシニア教室(のべ274名)

在宅サービス部門

善意の寄託

たくさんのご寄付ありがとうございます。
みなさんから寄せられた善意は、社会福祉事業に活用させていただきます。(敬称略)

(令和元年5月1日～6月30日)

- 一市民 5,000円
- 渡辺輝治(東山町) 100,000円
- 一市民 30,000円
- 一市民 30,000円
- 一市民 5,000円
- 岩城順子(本町一) 100,000円
- 小林和子(舞鶴市) 使用済み切手13g
- 京 綾部ホテル大家族の湯 使用済み切手148g
- 一市民 ビニールバッグ大2個
- 一市民 使用済み切手36g
- 山家地区民生委員児童委員協議会 使用済み切手600g
- 一市民 洗剤
- ◆一市民 食材×6
- ◆一市民 茶葉、花
- ◆一市民 紙パンツ、タオル
- ◆佐々木スエノ(上杉町) 布団他
- 一市民 食材×7
- 四方よし枝(白道路町) 食材
- 栗下京子(志賀郷町) 食材
- 岩崎あい(中ノ町) 食材
- 一市民 紙おむつ、パッド
- 一市民 鍋

- 綾部市社会福祉協議会に
- ◆社協の家つどいに
- 社協の家なごみに



社協会費納入のお願い

綾部市社会福祉協議会は、市民の皆さまには、一般会員として組織構成をいただき、自治会を通じて会費の納入をいただいているところですが、今後とも地域福祉の充実のためにご協力をお願いいたします。

●会費年額 一戸あたり4百円
●納入期日 令和元年8月末



地域のひろば

情報募集

皆さんの人に知ってほしい協力してほしい！そんな時「のびのび」を活用してください。隔月発行の全戸配布です。
(内容や紙面の都合上、掲載できない場合があります。)

毎月 男性介護者のつどい Cafe

そりやなあ談義に参加しませんか

男性介護者のためのカフェを開催しています。大変ですねを共有しましょう。ホッとする時間を...

ほんのひと時 心の中を開きましょう

とき 毎月第4火曜日 13時30分～15時
ところ 綾部市福祉ホール
問：綾部市社会福祉協議会・中部地域包括支援センター
電話 43-2888 FAX43-2882

元気になる エッセイ

米粉麺が我が家に

6次産業やマルシェ開催などを通じて、「農のある暮らし」を提案している大阪の山内美陽子さん(谷町空庭代表)を招き、昨年講演会を開催しました。山内さんは「米粉」の普及活動もされていて、お米を送れば米粉にして、お米を送る工賃がなくなります。お米を送っていただくか、お米を送っていただくか、早く、我が家のお米を米粉に。

ら、50キロの白米を送った粉、100グラム入りの米粉、我が家に届きました。先

間、茹でることが可能です。今年帰天された作家・田辺聖子さんの言葉をふと思ひ出しました。以前、田辺さんがお母さんから教わったという「人はな、生まれ在所から三里以内で、体によろしいねん」という言葉です。米の年間消費量も日本人一人あたり60キロ弱と、先人の東京オリンピックのころと比べると半減中。米粉麺って、なかなかおもしろい存在かも。そんなことを感じている今日のごろです。

塩見直紀 (半農半X研究所)

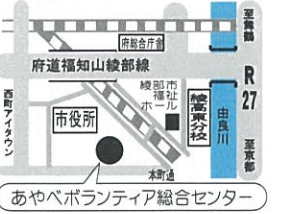
登録ヘルパー募集!!

綾部市社会福祉協議会では、登録ヘルパーを募集しています。活動日数や時間は相談に応じます。詳しくは、お問合せ下さい。

- 職種登録ヘルパー
- 資格・介護職員初任者研修修了者(旧ヘルパー2級資格所持者)へ介護福祉士
- 問：綾部市社会福祉協議会 (電話 43-2888)

あやべボランティア情報

Ayabe-Volunteer information



■開所時間：月～金 8:30～17:15
■http://www.ayabe-vc.net/ ■E-mail:office@ayabe-vc.net

(問) あやべボランティア総合センター 綾部市本町二丁目14 TEL. 40-1388 FAX. 40-1389

作業所まつりボランティア募集!!

●活動内容

活動日	時間	内容	活動場所	申込締切
8/25 (日)	7:00～8:30	会場周辺の草刈り等	あやべ作業所	8/23 (金)
8/31 (土)	16:00～20:30 ※まつり開始は17:00～	企画内容へのサポート、会場係、駐車場係	周辺(物部町)	8/30 (金)

◎軽食、飲み物を用意します。お手伝いをお願いします。詳しくは、あやべ作業所までお問い合わせ下さい。
■発信元：作業所まつり実行委員会 (連絡先：あやべ作業所 TEL 49-0434 FAX 49-0464)
*当日に向けての宣伝カーの運行ボランティアも募集します。8月26日(月)～31日(土)まで運行予定です。短時間でも構いません。お手伝いいただける方はご連絡下さい。

あやべ夏あかり妖怪デザイン募集!!

市内の子どもたちから綾部のオリジナル妖怪のデザインを募集します。2～3体を選考して実行委員会が作成し、8月11日(日)の夏あかり点灯式前に子どもたちに色付けしてもらいます。参加してくれたお子さんには8月15日(木)のお化け屋敷の入場料(100円)を無料にさせていただきます。

- 発信元：夏あかり実行委員会 (連絡先：綾部市観光協会 TEL 42-9550 FAX 42-8514)
- 開催日時：8月11日(日) 15時～19時
- 会場：あやべゲンゼスクエア
- 対象：小学生まで
- 応募締切：7月31日(水)

【例】あやべ盆踊りに出る妖怪とりつかれると「綾部おどり」が踊りたくてしょうがなくなる。



あやべ夏あかり
【日時】8月11日(日)～8月15日(木)
【会場】あやべゲンゼスクエア



あやべ盆おどり大会 夏まつり部門
【日時】8月15日(木) 16時～21時
盆おどり大会：19時～21時(あやべゲンゼスクエア)
お化け屋敷：16時～19時(ゲンゼ博物苑 集蔵・今昔蔵)
◎屋台出店あり

♪FMいかる♪
『ボランティアの窓』
(76.3MHz)
出演情報



あやべボランティア総合センター登録のボランティアさんが毎月ラジオ出演しています。

8月の放送予定は
8月12日(月) 13時～『綾部モラロジー事務所ボランティアサークル』

9月の放送予定は
9月9日(月) 13時～『綾部市食生活改善推進員協議会』

ボランティアを始めたきっかけや活動のエピソードなど、様々なお話をぜひお聴き下さい!!